

## 2018年9月インドネシア・スラウェシ島の地震に関する SAR 干渉解析結果

2018年9月28日(UTC)にインドネシア・スラウェシ島付近で発生した地震(Mw7.5)について、だいち2号のデータの解析を行った。得られた結果は以下のとおりである。

- 変動域は震央から南側へ約160kmの範囲に及んでいる。
- Palu から南側で大きな地殻変動が見られ、5m程度の変位が生じている。南北に走向をもつ断層の左横ずれ運動と調和的である。
- 単純な1枚の断層ではなく、複数の断層が複合して動いたように見える。
- 震源断層による地殻変動だけでなく、地震の際に誘発されたと思われる断層変位も見られる。

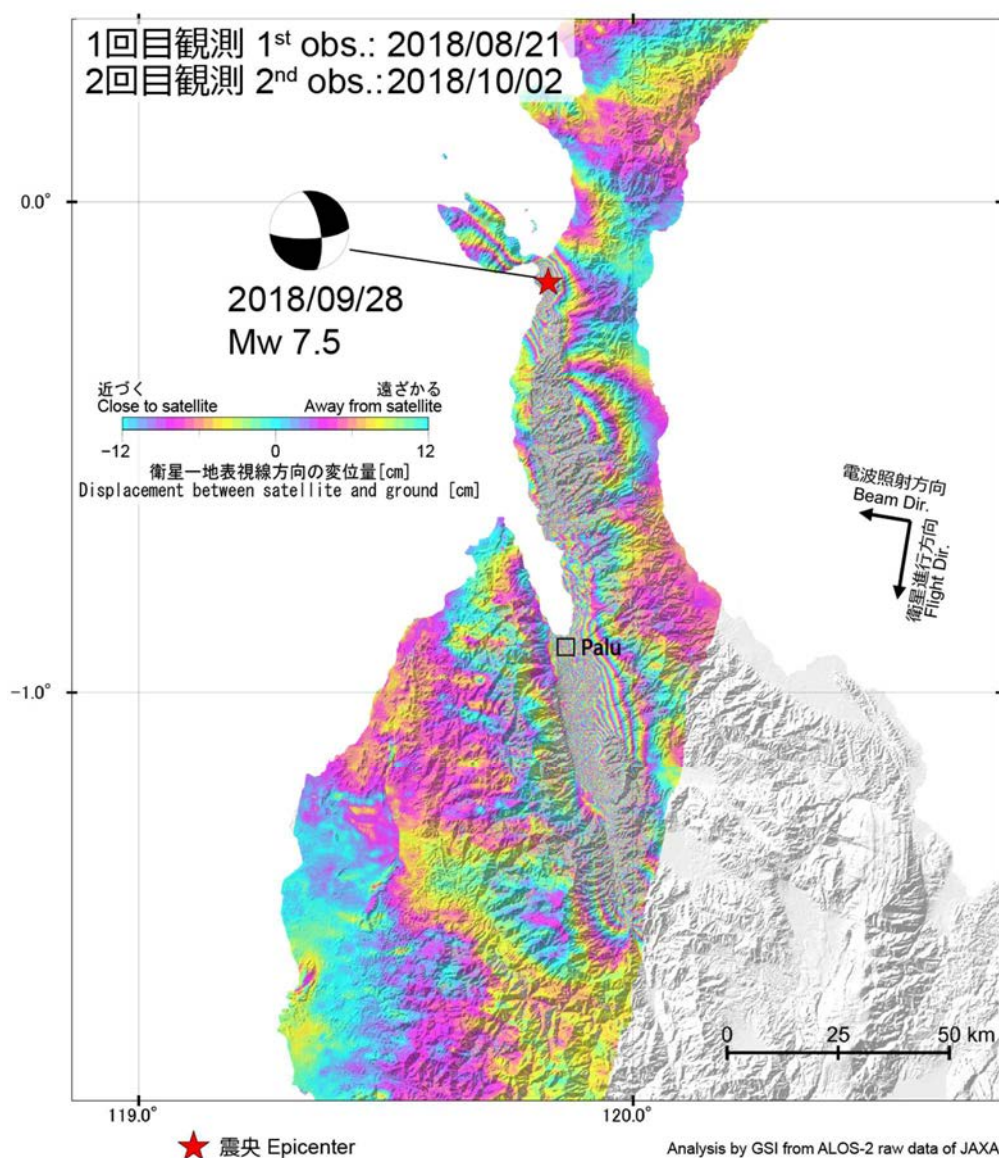


図1. 南行観測ペアの SAR 干渉画像

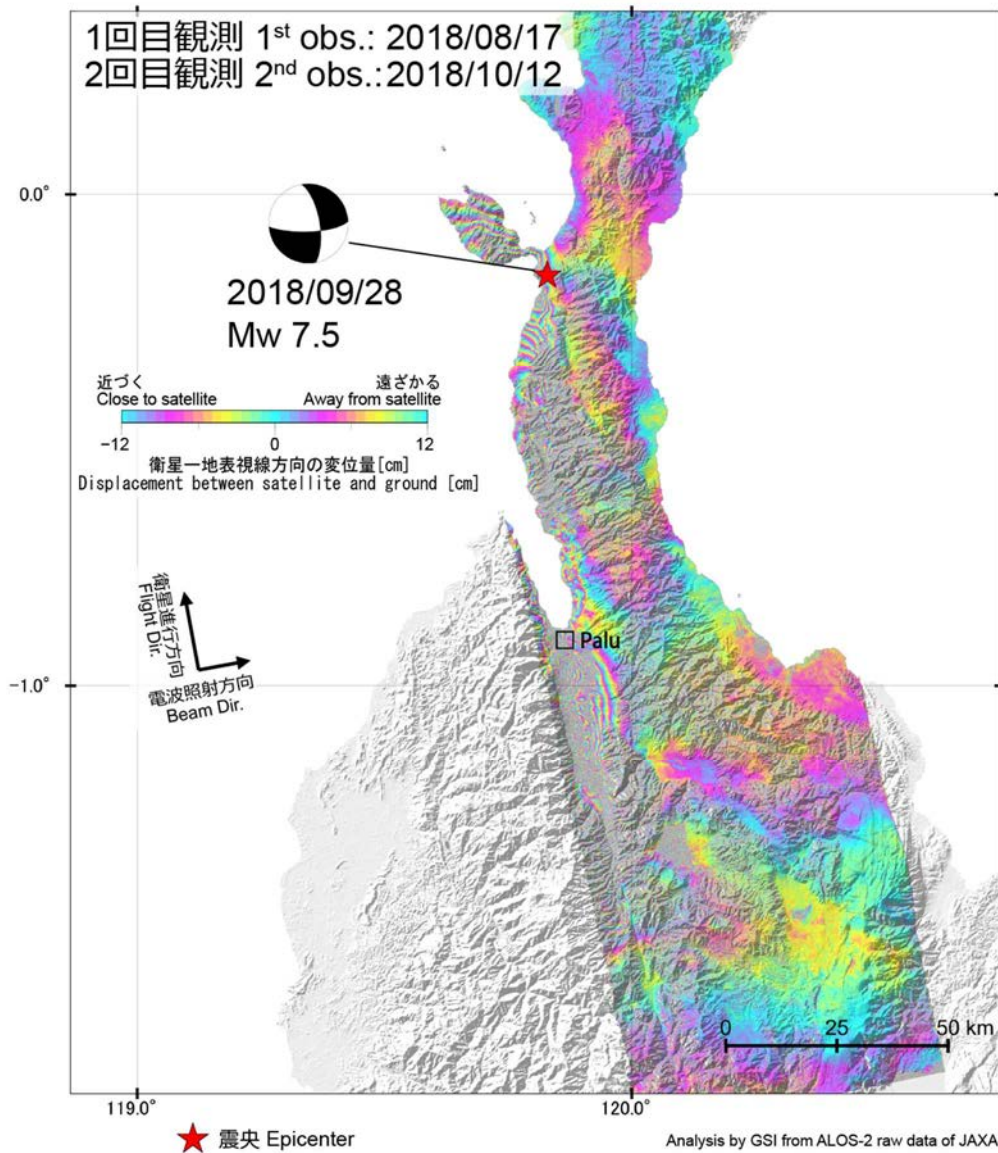


図 2. 北行観測ペアの SAR 干渉画像

表 1. 使用データ

図番号	観測日	観測時間 (UTC)	衛星進行方向	電波照射方向	観測モード	入射角 (震央付近)	垂直基線長
1,3	2018/08/24 2018/10/02	03:47 頃	南行	右	広域観測 (Normal)	29°	+43m
2	2018/08/17 2018/10/12	16:11 頃	北行	右	高分解能 (10m)	32°	+339m

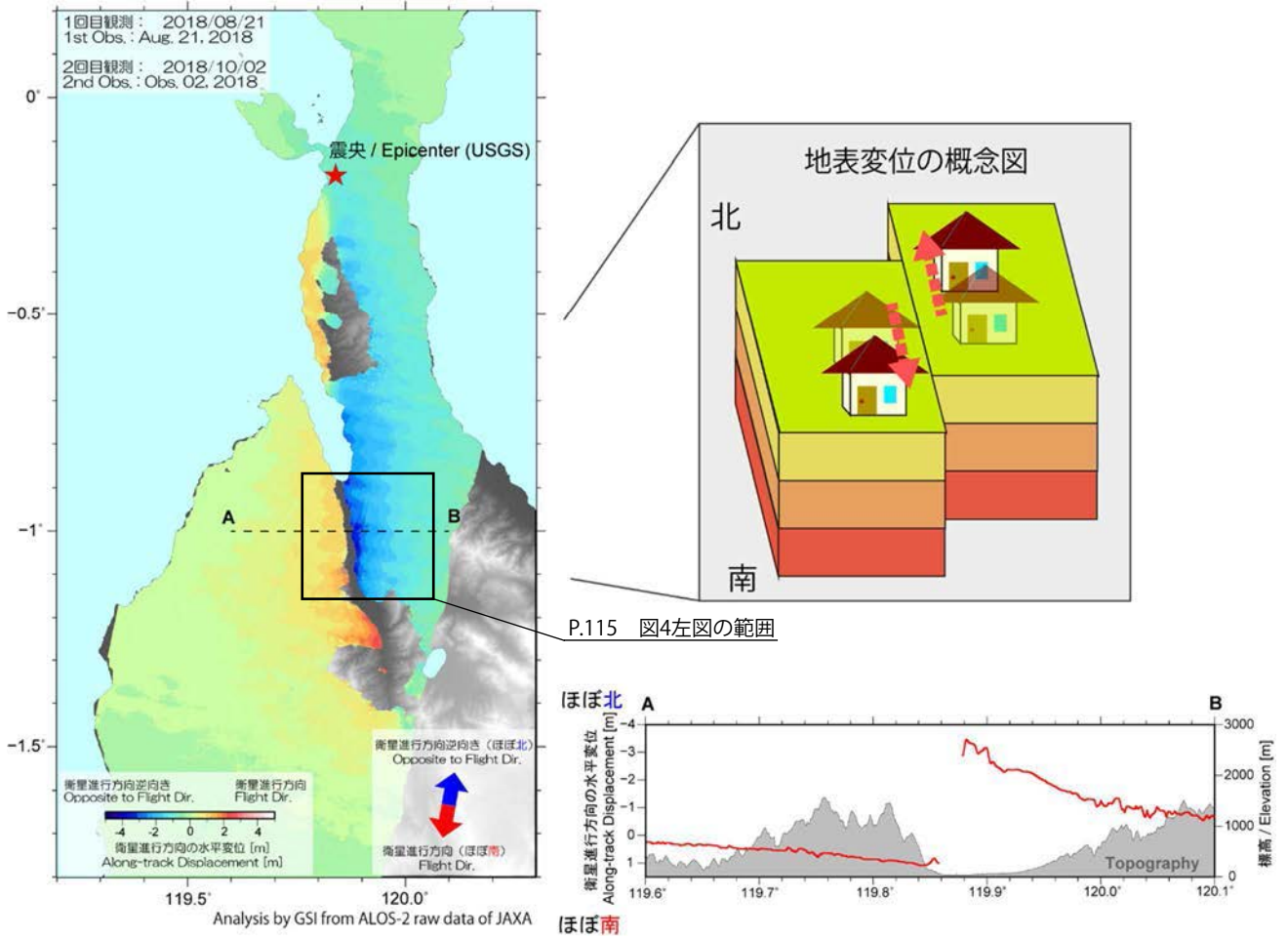


図 3. 南行観測ペアの MAI 法解析画像

本成果は、地震予知連絡会 SAR 解析ワーキンググループの活動を通して得られたものである。